

議会だより



かみむらの

No. **5**

1995. 2. 10

発行 上富良野町議会

編集 議会広報特別委員会

武芸たん練の場

武道館新築落成



主な記事

武道館の設置条例を可決 ②ページ

予算編成などを一般質問 5議員が登壇 ⑥～⑩ページ

オートキャンプ場用地を取得 ⑤ページ

制定改正

例

▼開館式でのテープカット



1月から
利用開始

武道館の設置条例を可決

社会教育総合センター横に完成



オープンを記念して子供達の演技を披露



昨年から、総事業費約2億2千879万円で、社会教育総合センターに併設して工事を進めていた武道館が完成し、議会ではこの設置条例を審議し原案を可決しました。

武道館は、鉄骨平屋建てで剣道場・柔道場・弓道場からなり、総床面積は712㎡です。提案説明では利用方法や利用料金などが行われ、社会教育総合センターと同様な形態で平成7年1月から運営する内容のものです。

■武道館使用料

(単位：円)

使用区分	時間区分	午 前	午 後	夜 間
		9時~12時	13時~17時	18時~21時
団 体	小中高生	200	300	400
	一 般	400	600	800
個 人	小中高生		1回 50	
	一 般		1回 100	

※ 暖房期間の11月から4月までは、3割加算

その他
審議
した議案

決算認定は特別
委員会へ付託

平成5年度の各会計の決算認定は、議長、議選の監査委員を除く18名による決算特別委員会(委員長 海江田副議長)を設置して、審査することになりました。

土地改良事業
を可決

町が土地改良法による団体営土地改良事業を、日新の畝の沢地区に平成7年度から平成10年度まで農道整備を実施することを可決しました。

- ・改良舗装延長 1千625m
- ・概算事業費2億7千万円

損害賠償の
和解を議決

公用車の交通事故に伴う損害賠償が和解したことから、地方自治法により議決したものです。
和解の額は、140万5千214円です。



乳幼児医療費などの

助成の対象範囲 を改正

きまり



乳幼児・老人・重度心身障害者、母子家庭等の医療費助成に関する3条例が賛成多数により原案可決しました。改正の内容は平成6年10月から、健康保険法などの改正により、入院時食事療養費の一部患者負担が導入されたことから、町も同様にするのと同時に、それぞれの医療費の対象を拡大するものです。

初診時一部負担金改正
今回は、初診時一部負担金も制度当初の3割相当額から現行の3割相当額に改正になります。

これらの改正に対し、町の訪問看護制度の取組みに対する質疑が行われた後、起立採決によって賛成多数で可決されました。

■医療費助成事業の対象者

区分	現行の対象者	拡大した対象者
乳幼児	入院は6歳未満 通院は3歳未満	通院に新たに歯科診療を対象
重度心身障害者	身体障害者1、2級又は重度の精神薄弱者の入院費、通院費	新たに内部障害による、身体障害者3級の者を対象
母子家庭等	母子家庭等の母及び18歳未満の児童（母は入院のみ、児童は入院費、通院費）	20歳未満の児童までに拡大（18歳以上の児童は所得税非課税世帯が対象）

町民税の所得割を改正

町税条例の一部を改正する条例を原案可決しました。改正の内容は地方税法が改正されたことによる、平成7年度分以後の町民税の所得割の税率適用区分を改正するものです。ただし、平成7年度分の町民税に限り、所得割の額から特別減税を行うものです。

■所得割の税率区分の改正表

税率	現行	改正後
3%	160万円以下	200万円以下
8%	160万円を越える	200万円を越える
11%	550万円を越える	700万円を越える

■高校卒初任給
134,900円
↓
136,500円
(1.2%アップ)

■大学卒初任給
164,900円
↓
167,200円
(1.4%アップ)

町職員の給与を改定
町職員の給与に関する条例等を原案可決しました。国家公務員が人事院勧告によって給与等が改定されたため、国との水準を保つためのものです。改正の内容は、給料・扶養手当・寒冷地手当は引き上げ、期末手当は引き下げられました。

議員定数減少 条例を否決

富良野広域中内草地区組合 南富良野町に富良野広域市町村で設置した草地区が更新の時期等から、現在の牧場運営費に維持管理費を含める規約の変更を議決しました。

組合規約の 変更を可決

賛成4・反対14
平田議員から、町議会議員を現行20人から18人に減少する条例が提案されましたが、反対多数で否決されました。

条例案は、時代の流れの中で、情報の公開を推進することによって、議会から改革を推進し、20人の議員を18人に減らすことは可能であるとのものでしたが、反対意見として、急に出されたもので、十分な論議をする期間がないこと。また、昭和42年の選挙から26人を20人に減らした経過もあり、当時と比較しても産業構造など変わっていないことなどの理由から、否決されたものです。

補正予算

財源と使い道

■12月補正予算の状況

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	3億5,636万2	103億1,072万4
国民健康保険特別会計	1,237万1	9億5,565万3
簡易水道事業特別会計	35万3	5,481万5
病院事業会計	1,719万0	11億4,016万4

■一般会計補正予算のあらまし

歳入(財源)の内訳	補正額(千円)
町税(町民などからの税金)	△ 3,240万0
国からの交付税、交付金	3億166万0
国や道からの負担金、補助金、委託金	1,636万2
分担金、負担金(町民の負担するお金)	336万7
寄付金(町民や団体から寄付されたお金)	474万0
町債(町の借金)	6,140万0
その他の収入	123万3
歳入合計	3億5,636万2

歳出(主な使い道)の内訳	補正額(千円)
基金への積立金	2億6,443万0
病院会計への補助金	2,019万0
リサイクル施設整備計画策定委託金	720万0
し尿処理施設更新計画策定業務委託金	△ 1,300万0
企業誘致補助金	1,082万4
災害復旧費(融雪による災害復旧工事)	6,338万3
町職員の給与費	1,204万6

補正による積立額	補正後の積立額
財政調整基金 1億円	2億2,576万3千円
公共施設整備基金 1億443万円	8億8,633万4千円
減債基金 6千万円	3億9,061万2千円

町のこれからの事業の財源を確保するための財政調整基金などに、国からの交付税をもって、現在の基金に増額して積立てる費用です。

昨年春の融雪によって、河川の堤防等が決壊した災害の復旧工事を行うための費用です。復旧の場所は次の河川名のところからです。

- ▽北30号川 A 35 m
- ▽北30号川 B 55 m
- ▽コルコニウシベツ川 71 m
- ▽鯨沢川 139 m
- ▽デボツナイ川 47 m

**融雪災害の
復旧費を計上
6千338万円**



春の融雪でくずれた河川の堤防

町内の十勝岳温泉線の経営する宿泊施設「凌雲閣」が町企業振興措置条例の適用を受け、町が施設の整備費(投下された固定資産の3%以内)を補助するための費用です。「凌雲閣」は、十勝岳温泉地区に昭和39年に建築され、今回老朽化のために、同じ場所に新築されたものです。

**企業誘置の
補助金を増額
1千82万円増**

**2億6千443万円
を
増額積立て
財政調整基金な
どを**



新装された凌雲閣

財産取得

スクールバスを取得 愛称「わかば」を更新

町のスクールバス取得を 財源は防衛庁の調整交付金
議決しました。このバスは、 が主に充てられます。
「わかば」の愛称で小学生の
登下校に使用していたもの
を更新のため購入するもの
です。乗車定員は52人で、

◇取得の相手方 日産デ
イゼル旭川販売㈱

◇取得金額
1千468万7千800円

日東コミュニティ広場

広場を拡張

日東コミュニティ広場の
用地取得を議決しました。
5千㎡以上、7百万円以
上の公共用地や財産を取得
するには議会の議決が必要
なためです。

◇面積 7千797㎡

◇取得価格
2千105万2千494円

日の出公園拡張

オートキャンプ場予定地

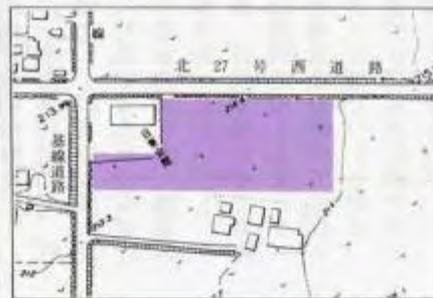
日の出公園の用地取得を
議決しました。
場所は現在の日の出公園
に隣接する場所です。今後オ
トキャンプ場として整備す
るために用地を取得するも

のです。全体面積は37、
051㎡で来年度に残りの
面積を取得する計画です。

◇面積 2万8千410㎡

◇取得価格

7千670万7千円



第1回臨時議会

吹上地区の整備に 450万円を可決

1月12日の第1回臨時議
会において、十勝岳吹上地
区の自然と憩いの森の外溝
を整備するための設計委託
費450万円などの一般会計補
正予算を賛成多数で可決し
ました。

「自然と憩いの森」は本
年度の多目的露天風呂と平
成7年度、8年度に「健
康保養センター」(仮称)
を建設するものです。



健康保養センター(仮称)の完成予想図

臨時議会

平成11/10・平成1/12
6年 7年

第8回臨時議会

農業の経営強化に 利子補給を可決

11月10日の第8回臨時議
会において、国の農業経営
基盤強化事業による認定農
家に対する資金融資の利子
補給を平成7年度から25年
間行うことを原案可決しま
した。

この事業は規模拡大を目
指す農家に農地取得や農機
具、畜舎などの資金融資に
対する利子補給を町のほか
に国や道が行うもので、こ
れにより、農家の利率は2
%となります。利子補給は
国が1%、町・道がそれぞ
れ0・25%です。



秋の農作業風景から



◀ 広域行政で進めている上川南部消防事務組合



青柳議員

Q 広域行政の推進は A 積極的に進める

Q 予算編成の基本姿勢は A 行革を進め健全財政に努める

自治体は、首長の交替によって町がすっかりよみがえると言われる。最近の例では富山県のある市長は、市がルーズな職員採用の結果職員数、人件費が雪ダルマのように増大、財政は硬直状態であった。市長は強硬な抵抗と反対を乗り越え、400人の大削減を達成し、浮いた財源でユニークな街づくりを行った。

また沼津市の市長は就任と共に職員に対し、「前にこうやった、昨年もこうやっていた」という前例重視より脱却、「市民が望んでいる方向に市政を変えよう」と、体育館、文化センターの年中無休体制、プールの早朝開館を職員に提言、職員の支援、協力を受けて、今ではプールは7時から泳げるし、図書館、体育館は働く人のために夜間開館を行い、慣例を破った。

これらの例は極端な事例で、弊害や功罪もあると思うが、この二人の首長の取り組みはすばらしい。行政の良否は首長の責任、影響の如何にある。町長の強いリーダーシップに期待して次の質問をしたい。

付税は前年対比4.1%減が示され厳しい情勢にある。対策としては既存事業の見直し、簡素化、合理化、物件費の10%削減を図る。更に行革を進め健全財政の維持を図る。

果職員数、人件費が雪ダルマのように増大、財政は硬直状態であった。市長は強硬な抵抗と反対を乗り越え、400人の大削減を達成し、浮いた財源でユニークな街づくりを行った。

また沼津市の市長は就任と共に職員に対し、「前にこうやった、昨年もこうやっていた」という前例重視より脱却、「市民が望んでいる方向に市政を変えよう」と、体育館、文化センターの年中無休体制、プールの早朝開館を職員に提言、職員の支援、協力を受けて、今ではプールは7時から泳げるし、図書館、体育館は働く人のために夜間開館を行い、慣例を破った。

これらの例は極端な事例で、弊害や功罪もあると思うが、この二人の首長の取り組みはすばらしい。行政の良否は首長の責任、影響の如何にある。町長の強いリーダーシップに期待して次の質問をしたい。

付税は前年対比4.1%減が示され厳しい情勢にある。対策としては既存事業の見直し、簡素化、合理化、物件費の10%削減を図る。更に行革を進め健全財政の維持を図る。

また沼津市の市長は就任と共に職員に対し、「前にこうやった、昨年もこうやっていた」という前例重視より脱却、「市民が望んでいる方向に市政を変えよう」と、体育館、文化センターの年中無休体制、プールの早朝開館を職員に提言、職員の支援、協力を受けて、今ではプールは7時から泳げるし、図書館、体育館は働く人のために夜間開館を行い、慣例を破った。



青少年問題に取り組む相談員



◀大町子供会が行っているリサイクル活動



倉本議員

Q 審議会委員などに

女性
青年

を!

A 広い分野から
登用する

Q ゴミの分別収集を早急に!

A 新年度から缶と
ビンを分別する

審議会等への女性・青年の登用推進を積極的に

問 審議会委員等の就任状況は、女性10%、青年(39歳以下)4%弱という実態である。

近年女性の社会進出は目覚しく、その能力を発揮し大きな役割を担っている。より広い範囲の女性が町の制度や運用決定の場に男性と共に参加する「町づくり」の仲間である事が望ましく、青年もまた、その意思や力を発揮出来ることで、町づくりへの意欲が高まるのではないかと。

町長 委員の選任は法律や条例等で定められており、その条件をそなえた方の中から、それぞれに選考して委嘱しているが、登用率の低い事や選任の偏りもある。ので、それぞれの世代や広い分野から女性・青年の清新な人材を登用し、新陳代謝と活性化を図ることに努めて参りたい。

団体等に交付している補助金の行政効果を高めるための方策は

問 各種団体への補助金配分に当たって、個々の業績や行政の進展に及ぼす効果について検討や見直しをしているか。又今後の補助のあり方をどう考えているか。

町長 現在、行政改革補助金部会の中で見直し等の取り組みをしており、団体の活動形態、公益性の確保等個々の実情を判断し交付することになるが、行政経費負担の公平確保の観点からも、適切な育成指導を図り、なお、行政効果が表われないものについては廃止して行く。厳しい対応が必要なので、含めて検討中である。

ゴミの分別収集等の減量化を早急に推進しては

問 今後のゴミ処理について6月の町広報で示されたが、分別収集やリサイクルなど、実際にいつから始めるのか、早急に進めるべきでは、と言う声が聞かれて

いる。

町長 最終処分場の延命と資源ゴミのリサイクルを図るためにも、分別収集は重要となっている。町においても明年度から、試行的ではあるが缶、ビン類の分別収集を実施したく、収集方法や資源ルートの確保等について検討しているが、同時に町民、事業所それぞれにみんなが生活者として、ゴミ問題を認識していただくよう取り組んで行きたい。

有料化を導入する考えがあるか

問 国においても速からず有料化の義務づけが予測され、道内でも多くの自治体が、有料化によって30%程度の減少が図られている。有料化は公平であり、減量化への最も有効な手段で

あるとされているが、そのような考えがあるか。

町長 全道的な動向を見ると平成3年度末現在34町村が実施しており、結果として町民のゴミに対する意識の高揚と減量化の効果が大きく、また国の審議会答申もあり、取り組みを検討している市町村が増えてきている。

町として減量化による処理費用の節減、施設処理費用補填、物を大切にすることの育成等から、今後有料化を推進すべく検討を行っていく。

再質問 審議会委員は兼任者が多いことや、長期に亘って交替されていない状況が登用間口を狭めている要因であり、機能のマンネリ化や高齢化の原因にもなるので、任期の面で改善を図ることが必要ではないか。

町長 今後の改選期において、出来るだけ人材の交替を図りながら、委員会の改善を進めて参りたい。



佐藤議員

◀公民館の2階を利用している町の図書室



Q 非行の防止策は A 新機関の設置を検討する

Q 図書館の新設は A 次の総合計画で明らかにする

わが町の非行再発防止対策のあり方は

問 この種の問題解決は、重要な課題であり、どうしても取り組まなければならぬ課題として認識されるので、不名誉なことではあるが、いじめや、非行の芽をつむ先行的な対応策を、町ぐるみで確立し、これらの再発防止に当らなければならぬと思うが、当業者としての考えを伺いたい。



まちづくりは計画から

また、図書館は、多くの町民に活用されなければ意味がない。

教育長 これらの対応には学校ばかりでなく家庭、地域社会の理解との三者一体となつての取り組みが大切と考え、現在、青少年問題に係っている各機関と、更に社会教育団体、住民組織などの協力を得た中で、青少年健全育成に携わる機関の設置を検討して参りたい。

町民に親しまれ、多くの人に利用される場所と機能をそなえなくてはならず、今後進められるであろう市街地整備計画を充分検討して、建設の位置づけを決定して欲しいので町長の答弁を求めたい。

図書館新設の啓蒙促進と市街地整備計画の関連を問 図書館新設は町民の広く求めるところであり、一日も早い実現を希望するので、基本計画の姿勢を示さ

町長 図書館設置の姿勢として、その必要性は常に認識しているところであるので、早期建設を望まれる文化会館や、既存の公民館の整備との関連を考慮しながら、総合計画の中で、財政と併せて前向きに検討する。

市街地整備計画と図書館建設の関連については、現在推進している商店街活性化構想との整合性のある整備計画を充分検討し推進して行かなければならないと考えており、町の都市再開発構想をも充分考慮に入れて検討する。

再質問

① 非行といじめの問題は、社会全体、町ぐるみの取り組みがなければ解決しないと考えるので、町長と助役の見解を伺っておきたい。

② スポーツ関連の施設として社会教育総合センター、ブル、武道館、運動公園広場、野球場等の完備を見たので、今後は、文化面の拠点作りを急ぐ必要があるのでは、これらの総合計画をどのように考えているか。

町長 ① これらの青少年の問題は、小手先の対応では追いつかないと考える。21世紀を担う青少年の育成は地域住民すべての責任であると認識しているので全

町民の責任として、場合によっては専門の組織による対応も考えなければならぬ。

助役 ① 従来の文部、厚生独自の局部的対応では解決出来ないものがある中で、学校現場だけにとどまらず、今後は専門部局の設置についても充分協議して誤りのないよう対処する。

町長 ② 専門の図書館のない町も少いと聞いている。武道館に次ぐ施設として図書館の建設であることは認識している。

次の総合計画の中でこれらの一連の建設計画を明らかにしたい。

その他の質問

問 国際交流の推進は

答 開基100年に合わせ、友好都市カムロイズ市から招待客呼びたい。

国際交流はカナダにとどまらず、広く交流の輪を広め人材育成に努めていきたい。



◀ 新年度の予算編成を審議する庁内会議



平田議員

Q 町の経常経費の削減は A 10%削減を指示

Q 特色ある町づくりは A 個性を生かす

経常経費の具体的削減は
問 平成7年度の予算編成時期に当たり、その削減案はどのように考えているか
 具体的数値目標を掲げて示されたい。

町長 新年度予算編成に当り、10%の経常経費削減を指示している。

厳しい行財政環境下で、自治体が社会経済情勢の変化に的確に対応していくためには、時代にあわせて簡素で効率的な行政の確立に向けて自主的に改革を図り多面的に行政改革を推進して参りたい。現在部会毎に改革案の策定に取り組んでいるところであり、策定された段階で議会とも協議して推進する。

組織、人事に変革を

問 役場の機構改革と人事については、以前にも問題提起をしているところであるが、現在の組織、人事は大胆な変革、活性化が必要ではないか。組織の硬直化は否めない事実であり、意

思決定が組織内部でどのようになされているのか、職員への指導、研修はどのような意図を持って実施しているのか。町長の理想とする執行体制はどのような姿勢なのか、率直な意見を伺いたい。

町長 役場の機構改革と人事については就任以来二ヶ年、私なりに職員の仕事ぶりや、人間性を見てきたが夫々長所短所があり、いかに住民に行き届いたサービスを提供して行くか、その為の組織となっているか考えているところであり、役場組織においても活性化につながる職員研修の充実を図り、適材適所の人事に心掛けて参りたい。

特色ある町づくりの 実現を

問 本町の特色ある町づくりの実現に向けて町長はどのように考えているか。

本町は人口、財政規模においても管内トップに位置しており、他町村の手本と

なるような「上富良野に見習おう」というような独自の町づくりがあるのか、あるいは模索しているのか、言葉、理念だけでなく具体的に町民に夢のある、この先この町はこのようにしたいという考えを示されたい。

町長 「町づくり」を進める上で、農、商工業、自衛隊が共に協力し、人間性豊かな町の創造を目指して努力しなければならぬ。生活環境整備としてゴミ最終処分場の建設着手、精神教育と体力づくりを目的とした武道館新築、保養と研修のための吹上地区露天風呂整備を推進している。

町づくりは町民一人ひとりが主役であり、21世紀を展望した町民が誇りを感じ、愛着を覚える個性豊かな町づくりを目指して取り組んで参りたい。

再質問

① 経費削減と行政改革は切り離して考えることは出来ないが、その具体的内容

を伺いたい。

② 理事者は、普段、一般職員と、どのようなコンタクトを持って業務に当たっているか。

③ 組織としての意志決定をどのように実施しているか。

④ 100人委員会の初会合で若干の疑問の声があるが、今後の進め方について。

⑤ 他町村からわが町に来る視察団の主な目的は。

町長 ① 多様化する行政需要に対し、「静かなる変革を持って」対処したい。

② 今後は一般職員との面談を密にして適材適所の人事の姿勢で対処する。

③ 立場、年齢の差を超えて相互理解を深め、誤解のないように進めたい。

④ 我が町が後世に何を残すか、記念イベントをいかにするか、各界、各層の意見を聞いて取り組む。

⑤ 防災、自衛隊駐とん地としての町づくりの視察が主なものである。



米沢議員

◀ 明年度から大規模改修に入る西小学校



Q 西小学校の整備計画は A 明年度から大規模補修を行う

Q 保育料の引き上げは止めるべき A 国の基準の85%位で改正を検討

西小学校の整備計画を明確に

問 防衛、文部の補助事業の採択を受け整備を計画しているが、事業採択の見通しが明らかでない状況を踏まえて、西小学校の改設計画を明確にすべきであるが、防衛補助が無理であれば、文部省補助、又は町単独事業で大規模改修を実施すべきではないか。

答 町長 町の問題意識が浅いのではないかと。町長 庁舎建物の構造、現有スペース等を勘案し、正面玄関に椅子用スロープ、自動ドア、ステップの改善を検討しているが、財政負担も大きく、年次計画で実施せざるを得ないものと考えている。

町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

町長 町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

教育長 防衛施設周辺整備騒音防止対策事業による改設計画を進めて来たが、早期採択は厳しく、文部省補助による大規模改修事業も検討したが採択には年数を要することから、その対応として暖房設備をはじめ、汚損、破損の著しい内装等の大規模補修を単独事業として明年度から年次計画で実施していく。

町長 町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

町長 町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

町長 町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

問 保育料の引き上げは、止めるべきでは

答 町長 町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

町長 町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

町長 町長 平成6年度、国の基準が大幅に改正され、これを踏まえて、教育民生常任委員会に資料を提出、説明したところであり、充分検討して国の基準とも均衡をとり、また幼稚園とのバランスも考慮し、改定をしたと考えている。

12月定例会では、町のいしずえ大学の方々が傍聴しました。
日頃、議会活動を見る機会があまりない中で、各学年の感想を紹介します。

議会傍聴 あれこれ

わたしもひと言・・・

本科1年

- 議員の質問及び町側の答弁が抽象的で具体性に欠けると思われる。
- 行政改革の具体性が見えなかった。
- 1期議員の質問が主で、古い経験豊富な議員の質疑がなかったのは寂しい。



本科2年

- 今回議会傍聴において私たちが期待している質問がなかったのは寂しい限りでした。

まず、環境整備の件は私たちなりに重要なことは把握していますが町の現況は体育施設に予算を使い過ぎているのではないか、文化施設の件について一人の議員も質問しないのが残念でした。

各市町村の現況は体育施設と平行して文化施設が大変進歩していると思われる。巨大な体育館があるにもかかわらず武道館を新設する必要があったのか疑問です。

で処理しなければなりません、それは大変矛盾を感じております。

- 図書室の利用については利用者が年々増えるとの返答がありましたが私個人としては、もっと増えてもいいのではと言う気がいたします。

春にテレビを見てましたら児童が学校帰りに列をなして本を借りている姿が写りました。大人も子供も大いに利用できて、はじめて図書館も新設する意義があるものと思います。苦しい財政の中からする事ですから、そんな気がいたしました。

本科3年

- 女性の立場からゴミ問題に関心を持っております。私の地域は僻地ですので我が家のゴミは自家



本科4年

- まず、町政の問題として他市町村の例を上げて検討しながらの町政の在り方に少々疑問を感じました。

また、議員の中で懸命に筆記している方、無表情でいる方等多様でした。町政の代表ですので、もっと真剣味が欲しいと思いました。

- 新しい議員の質問が多いようでしたが質問できる人数は決まっているのでしょうか。又多年議員さんは質問等はしないのでしょうか。

■ 3月定例会は3月上旬開会予定

議会は公開です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

委員会レポート

●議会の各常任委員会が議会の閉会中に調査したことを報告します。

総務

- 未登記道路
用地の現況
- 住民参加と
広報(調査中)



▲本会議での委員会報告

総務委員会では、議会の閉会中に所管事務の調査として、未登記道路用地の現況を調査報告し、現在は住民参加と広報について調査中であります。

調査した未登記道路用地の現況については、登記手続上での問題や地籍調査による不用地が存在していることなどが分かり、事務処理体制が組織上、整ったことから町部局に対して早期の用地事務を進めるよう報告しました。

《産業建設》

- ★イベント事業
- ★街路整備
(調査中)



▲現地を調査する委員

産業建設委員会では、イベント事業を調査報告し、現在は街路事業について調査中であります。

報告したイベント事業については、町内の7月から8月に開催されるラベンダー祭り、十勝岳火祭り、仮装盆踊り大会が、短期間に集中しすぎるとの声が出ていることから、その関係する団体が協議して、全体的な再検討をすべきと報告しました。

《教育民生》

- 高齢者福祉の
現況と施策
(調査中)



▲ラベンダーハイイツで説明を受ける委員

教育民生委員会では、高齢者福祉の現況と施策を調査中であります。

委員会では、町が平成5年度に策定した老人福祉計画を進めるに当たり、これからの高齢化社会をどのように対処すれば良いのかなどを調査し、社会福祉協議会や保健婦との懇談、ラベンダーハイイツの視察など出来るだけ現場の声を聴き調査検討を進めています。

編集後記

波乱の年であった平成6年も終わり、今年こそはと願う新年も中央政界の混迷や農畜産物の自由化による農業政策の混乱が予想されています。

2年連続の異常気象による農業災害や地震災害など景気低迷の中、平成6年第4回定例会が12月15日から20日にわたって開かれました。

町理事者は勿論のこと、私たち議員も真剣に町民のための行政を議会において議論をしました。

町の条例や補正予算などにおいては町民の生活に身近な問題として質疑応答がなされました。

また、議会の一般質問では傍聴席が一杯になるほどの盛況でした。

編集委員一同は議会広報を正確にお届けし、皆様に親しまれる広報になるよう努力して参りますので、本年もどうぞよろしくお願います。

(編集委員 岡和田 繁)

●●●●本紙に対するご意見・ご感想をお気軽にお寄せください●●●●